



Hinemos クラウド管理オプション Ver2.0 Standard for AWS

リリースノート 第4版

目次

1	はじめに	3
1.1	ライセンス	3
2	リリースノート	3
2.1	ver 2.0.5 for AWS での機能改善・不具合修正	3
2.1.1	機能追加	3
2.1.2	機能改善	3
2.1.3	不具合改修	3
2.2	ver 2.0.4 for AWS での機能改善・不具合修正	4
2.2.1	仕様変更	4
2.2.2	機能改善	4
2.2.3	不具合改修	4
2.3	ver 2.0.3 for AWS での機能改善・不具合修正	4
2.3.1	仕様変更	4
2.3.2	不具合改修	4
2.4	ver 2.0.1 for AWS での機能改善・不具合修正	5
2.4.1	機能改善	5
2.4.2	不具合改修	6
2.4.3	仕様変更	7

1 はじめに

Hinemos クラウド管理オプションとは、さまざまなプライベートクラウド/パブリッククラウドサービスにより構成された環境を、Hinemosにて効率良く運用するための機能オプションです。

1.1 ライセンス

Hinemos クラウド管理オプションは **GNU General Public License** となります。各種ドキュメントは **GNU General Public License** ではありません。各種ドキュメントの無断複製・無断転載・無断再配布を禁止します。

2 リリースノート

2.1 ver 2.0.5 for AWS での機能改善・不具合修正

2.1.1 機能追加

- ・ #2814 【CloudStd】自動検知するノードのノードプロパティの指定
自動検知時に作成されるノードのノードプロパティのうち、いくつかの項目について、ユーザが設定ファイルで指定した値を格納可能できるようにした。
- ・ #2843 【AWSStd】自動検知のノード名に設定する値にFQDN/ホスト名を変更可能にする
自動検知時に作成されるノードのノードプロパティのうち、ノード名の項目について、従来からのFQDN形式にするか、ホスト部のみを抽出した形式にするかを選択可能とした。

2.1.2 機能改善

- ・ #2726 【CloudStd】自動検知時に割当対象のスコープが無かった場合にエラーログが出力される
hinemosAssignScopeldによる割り当て先スコープが無かった場合に、自動検知が実行されるたびにマネージャのログに例外が出力されていたため、その出力を抑制した。
- ・ #2840 【AWSStd】新しいインスタンスタイプへの対応
クラウド管理オプション1.0リリース以降にサービス開始されたEC2インスタンスタイプについて、インスタンスの作成等で選択できるようにした。

2.1.3 不具合改修

- ・ #2738 【CloudStd】クラウド[テンプレート作成・変更]ダイアログに関するいくつかの不具合
クラウド[テンプレート作成・変更]ダイアログで、一度でもデプロイ時・起動時・停止時のジョブを選択してしまうとそれを解除することができない問題を修正した。
また、Azure版においてテンプレート変更時に登録時のイメージIDが表示されない問題を修正した。
- ・ #2777 【CloudStd】メニューからクラウドサービスを開こうとすると文字化けしている
メニューから「ビュー」>「クラウド」と選択した場合に、「クラウド[サービス]」の表示が正しくされていなかった問題を修正した。
- ・ #2800 【CloudStd】IPアドレスの自動更新の無効化が出来ない
インスタンスのIP更新検知のプロパティ (hinemos.cloud.autoupdate.node) を無効化しても、実際にはIP更新検知が行われていた問題を修正した。

2.2 ver 2.0.4 for AWS での機能改善・不具合修正

2.2.1 仕様変更

- #2682 シークレットキーが大きいクラウドサービスでシークレットキーが入力できない
シークレットキーが非常に大きいクラウドサービスにおいて、シークレットキーの入力欄が足りないため、シークレットキーの入力桁数を増やし、合わせて画面仕様を変更。
- #2749 テンプレート機能で64文字以上のIDを持つイメージを指定すると登録できない
イメージIDが非常に大きいクラウドサービスにおいて、テンプレート機能でイメージを登録できないため、IDの桁数を増やして登録可能なように仕様変更。

2.2.2 機能改善

- #2754 クラウド管理オプションの Hinemos HA on AWS 対応
クラウド管理オプションのインストーラーを改善し、Hinemos HA on AWS の環境上にクラウド管理オプションをインストールできるようにした。

2.2.3 不具合改修

- #2628 アカウントリソースを示すノードのプラットフォームがOTHERとなってしまう
アカウントリソースを示すノードのノードプロパティで、本来であればプラットフォームとして「AWS」や「Cloudn」となるところが、「OTHER」となってしまう問題を修正。
- #2739 【AWS】英語環境のクライアントでインスタンス作成ボタンを押すとエラーとなる
英語環境でクライアントを動作させた場合に、インスタンス作成ボタンを押すと例外が発生する問題を修正。

2.3 ver 2.0.3 for AWS での機能改善・不具合修正

2.3.1 仕様変更

- #2612 テンプレートジョブ作成ウィザードで、実行ユーザとして「エージェント起動ユーザ」が選べるようになった
テンプレートジョブを作成するウィザードの「コマンド/共通スクリプト[登録・変更]」ダイアログに、実行ユーザとして任意のユーザを指定方法に加え、「エージェント起動ユーザ」を選択できるようになった。
Windows環境でジョブを実行する際には、エージェントの実行ユーザと同じユーザとする必要があるが、Windowsごとにエージェントの起動ユーザが異なる可能性があり、特にAWSのWindowsテンプレートの場合、サービス登録した場合のデフォルト実行ユーザがホスト名となるため、事実上実行ユーザを固定することが難しかった。そのため、Windows環境へのテンプレートジョブにおいては「エージェント起動ユーザ」を選ぶことで、自動的にエージェント起動ユーザにてジョブが実行可能となった。

2.3.2 不具合改修

- #2593 参照不可能なノードに対してAPIでエージェント検知が実行できる
WebAPI経由でエージェント検知を実行した場合に、本来その実行ユーザで参照権限がないはずのノードに対してエージェント検知機能を実行できてしまう問題を修正。
- #2594 テンプレートジョブ実行時に引数を変更できない
テンプレートジョブを実行する際に、引数を変更しても実際に実行されるコマンドに反映されない問題を修正。

- #2598 アンインストールスクリプトで一部削除ができていない
インストール時に追加したクラウド管理専用の設定 /opt/hinemos/etc/META-INF/persistence.xml が削除されていない問題を修正。
- #2601 リストアで作成したインスタンスの状態がクライアント上で更新されない
クラウド[インスタンスバックアップ]からインスタンスをリストアした場合に、クライアントの画面上からそのインスタンスのステータスが変化しない問題を修正。
- #2602 不要になったバックアップに関する情報が削除されない
クラウド管理オプションからインスタンス・ストレージをバックアップした場合に、クラウド管理オプションが内部的に保持する情報が、不要になっても消されることなく蓄積され続けていく問題を修正。
- #2603 リストアでノードを置き換えた場合に、置き換え前のインスタンスを削除すると関連するバックアップ情報が削除される
クラウド[インスタンスバックアップ]からインスタンスをリストアし、ノードをリプレースした場合、バックアップの情報はリプレース後のインスタンスに引き継がれるべきだが、リプレース前のインスタンスに紐づいたままになり、リプレース前のインスタンスを削除した場合、バックアップ情報が削除されてしまう問題を修正
- #2604 アカウントリソース作成時に既存のジョブユニットが上書きされてしまう場合がある
アカウントリソースを作成する際に、アカウントリソースIDと同名のジョブユニットを作成するが、事前に同じ名前のジョブユニットが存在している場合、強制的に上書きしてしまう問題を修正。
- #2607 CloudEndpoint.getAllSupportedCloudTypes が必ず空のリストを返してしまう
CloudEndpoint.getAllSupportedCloudTypes のAPIが、有効なクラウドサービスのリストを返さず、常に空のリストを返してしまう問題を修正。
- #2608 特定の操作をするとノードに紐づくストレージの情報が更新されない
インスタンスに紐づいたストレージを、Hinemos以外からデタッチし、短時間のうちに別のインスタンスにアタッチしなおした場合に、タイミングによっては元のインスタンスのデバイス情報にストレージが紐づいたままとなる問題を修正。
- #2609 自動検知されたノードのサブプラットフォームにAWSが入らない (Standard版のみ)
AWS上で自動検知されたインスタンスに該当するノードのサブプラットフォームに何も入らないため、「AWS」が入るように修正。
- #2611 共通スクリプトを使ったテンプレートが実行できない
共通スクリプトのダウンロード機能を実行した場合に、権限が不足していて常に実行に失敗していた問題を修正。

2.4 ver 2.0.1 for AWS での機能改善・不具合修正

2.4.1 機能改善

- #2428 クラウドパースペクティブの各ビューの認証処理の改善
Hinemos本体の各ビューと同様にビュー単位での認証処理を追加する。
これにより、ログオフ状態でビューが表示されたままといった操作ミスを誘発する挙動を改善する。
- #2438 AWSの通信用プロパティ値の対応
以下のプロパティ値をhinemos.propertiesに指定できるように機能拡張
hinemos.cloud.aws.client.config.proxyHost
hinemos.cloud.aws.client.config.proxyPassword
hinemos.cloud.aws.client.config.proxyPort
hinemos.cloud.aws.client.config.proxyUsername
クラウド管理オプションで指定するプロパティ値を Hinemosマネージャ起動時にhinemos_manager.logに出力する処理を追加する

2.4.2 不具合改修

- #2419 WebサービスAPIのエージェント検知の対象ノードの参照可否の判定処理を追加
WebサービスAPI経由の場合、本来、参照できないノードについてもエージェント検知が動作する問題を修正
- #2423 各種WebサービスAPIのシステム権限の修正
システム権限が適切に付与されていないクラウド管理機能の各種WebサービスAPIについて、権限判定を適切に行われるように修正
- #2424 テンプレートジョブ実行時にジョブ変数の変更が反映されない
テンプレートジョブを実行する際に、ジョブ変数の変更を指定してもが反映されない
インスタンス作成
インスタンス起動
インスタンス停止
- #2425 インスタンス停止の前にテンプレートジョブを実行するとインスタンス停止が行われない
インスタンス停止の際にテンプレートジョブを有効にすると、本来はテンプレートジョブを実行後にインスタンス停止処理が動作すべきところ動作しない。
テンプレートジョブの終了判定に不具合があり、テンプレートジョブが終了したと判定されず、インスタンス停止の処理に移行しないことが起因する。
- #2426 クラウド[ストレージバックアップ]ビューのバックアップの状態取得に失敗する場合がある
削除済みのスナップショットがある場合に、当該スナップショットの情報取得に失敗し、該当リージョンのクラウド[ストレージバックアップ]ビュー表示に失敗する。
- #2431 クラウド[インスタンス]ビューおよびクラウド[ストレージ]ビューにおいて最新の情報に更新されない場合がある問題を修正
「更新」アクションを押下した際に、内部DBに保持している更新前の古い情報を表示する。（2回更新を行うと、最新状態になる）この問題を対処する。
- #2432 各種表示メッセージの修正
英訳の誤訳を修正
IOPSの倍率などのAWSの仕様が変更に伴う表示内容の変更
インスタンス作成ダイアログで該当リージョンにキーペアが存在しない場合のデコレーションワーニングに付随するメッセージの修正
- #2433 各種エラーコードの修正
入力チェック処理のエラーコードをUnexpectedからVALIDATION_ERRORに修正
- #2434 各種ダイアログ名の修正
クラウド課金監視の作成・変更ダイアログをクラウド課金監視[作成・変更]に修正
- #2435 各種画面操作の不具合の修正
Windowパスワードの取得アクションで秘密鍵ファイルの選択をキャンセルすると NullPointerExceptionが出力される
- #2436 各種WebサービスAPIの不具合の修正
WebサービスAPIにて、引数にnullを指定した場合の例外処理を改善
- #2437 各種Enterprise版の処理に関連するStandard版の不具合の修正
plugin.xmlの修正 (Enterprise版のプラグイン処理有効化のための修正)
CloudInstanceManagerの利用する通知機構の修正 (Enterprise版へ更新通知処理の修正)
- #2439 ノード未登録のインスタンスの自動検知時に例外が発生する場合がある
初めて検知するインスタンスに対して自動検知が動作した際に、トランザクション処理の問題により内部参照に失敗し、登録に失敗する（再度動作した際には正常に終了する）。
- #2440 アカウントリソースの初回登録後にクラウド[スコープ]ビューに最新の情報に更新されない場合がある問題を修正
Hinemos クラウド管理オプションのインストール直後に、アカウントリソースを追加し自動検知が行われた後に、ゾーン用のスコープが、クラウド[スコープ]ビューに表示されない

- #2441 クラウド[インスタンスバックアップ]ビューの表示不具合の修正
イメージID列にインスタンスIDの情報が表示されている

2.4.3 仕様変更

- #2418 ユーザの種類によるクラウド[ユーザ]ビューの参照範囲の修正
クラウド[ユーザ]ビューにおいて、参照範囲を以下となる様に改善する。
クラウドの管理者(アカウントリソースのオーナーロール)の権限をもつユーザは、該当するアカウントリソースのアカウント、制限ユーザが全て見える
制限ユーザ(クラウド[ユーザ]ビューで作成するユーザ)の権限を持つユーザは、自身が所属するロールに紐づく(制限)ユーザのみ見える
- #2427 VPCに関するインスタンス作成時のセキュリティグループ選択処理の仕様変更
インスタンス作成をVPC内にのみ作成する仕様に変更。これに伴い、以下のダイアログの画面についても変更。
クラウド[インスタンス作成]ダイアログ
- #2430 クラウド[テンプレート]ビューのリージョン単位のフィルタ処理を追加
ver2.0.0でがクラウド[テンプレート]ビューでは、テンプレートに紐づけられたAMIがどのリージョンに存在するかに関わらず、テンプレートが一覧として表示されていた。
これによる、想定しないリージョンへのテンプレートを作成するといった事象の誘発を改善するため、クラウド[テンプレート]ビューの表示内容をクラウド[スコープ]ビューと連携し、リージョン単位のテンプレートを表示するように仕様を改善する。

Hinemos クラウド管理オプション ver2.0 Standard for AWS リリースノート

非売品

- 禁無断複製
- 禁無断転載
- 禁無断再配布

Hinemosは（株）NTTデータの登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

なお、本文中にはTM、Rマークは表記しておりません。